活動資料

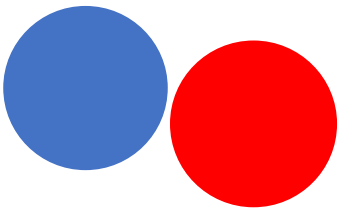
ボッチャ

山形市少年自然の家

１．活動概要

『ボッチャ』は重度脳性麻痺者や四肢重度機能障がいを持つ競技者向けに考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目でもあります。このゲームは体力の優劣を問わず、年齢や性別を超えて楽しむことができるレクリエーションとして、また障害によりボールが投げられなくてもスロープを使って参加できる生涯スポーツとしても広がっています。

ねらい：仲間と戦略を考えながら、勝負する楽しさを味わう。



２．活動場所　体育館などの屋内

３．所要時間　1ゲーム15分程度（人数によって異なる）

４．準　　備　《自然の家》ボッチャセット ： 赤ボール 6 個　青ボール 6 個　ジャックボール 1 個

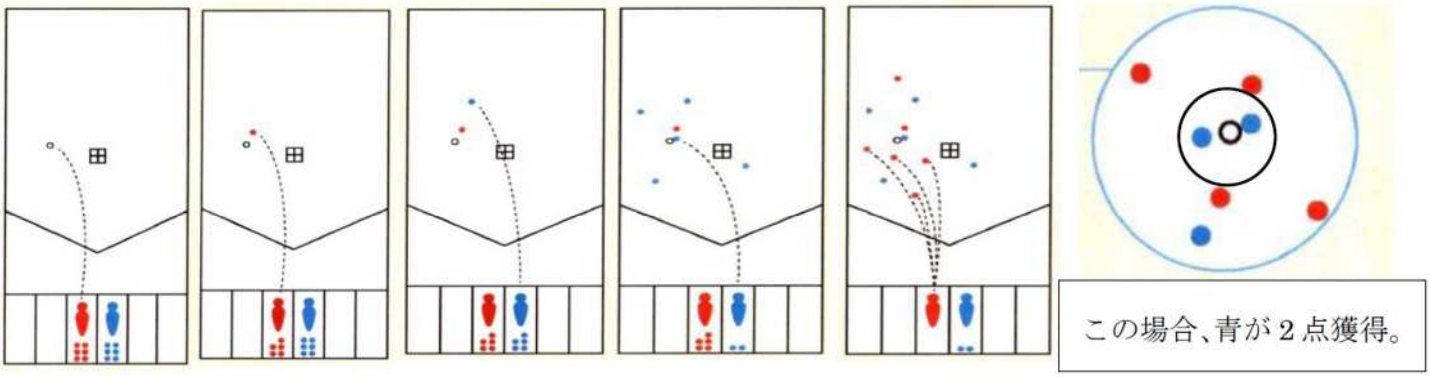
５．活動内容

★準備

①2 チームが対抗で戦います。1 チーム3～6人でチーム編成します。
②縦 12.5m×横 6m のコート内に、ジャックボール無効エリアとクロスを決めておきます。

★ルール

①先攻チームがジャックボールを投げ、続けてボール（赤）を1つ投げます。
　投げ方は下投げのみとします。その他の投げ方は危険なので禁止です。
②後攻チームはボール（赤）よりジャックボールに距離が近くなるようにボール（青）を投げます。
　この時ボール（赤）より近くなるまで何度でも投げます。
③相手チームのボールが「ジャックボールに一番近いボール」になったら投げるチームが変わります。
④どちらかのチームが持ち球を全て投げ終わると、もう片方のチームが残ったボールを全て投げて終了です。
⑤ジャックボールにより近いボールのチームが得点を得られます。この時、**相手チームの一番近いボールよりさらにジャックボールに近いボールの個数**が得点となります。
⑥引き分け（ジャックボールからの距離が同じ）の場合はサドンデスで 3 球ずつ投げ、ジャックボールに一番近いチームが勝利！



①　①　②　③　④　⑤

この場合、青が２点獲得。

６．実施上の留意点

・活動する時は、人や物に当てないように周囲をよく見ます。
・活動後は道具の数を確認し返納します。